

和邇川の水生生物の追加調査をおこないました。

11月16日(土)朝9時より、和邇川の水生生物の追加調査として、下流地域と中流地域で生物採集をし、生物の種類の比較を行いました。



夏に行った観察会では子供たちがメインでしたが、今回は調査が目的のため一般公募は行わず、おおつ環境フォーラムの先生方3名を含めて、大人9名で実施しました。

30分ほど、和邇公園横の和邇川で採集をした後、和邇川の中流地域の伊香立途中町のあたりに行き、再び生物採集を行いました。この日の和邇川は水量が多く公園横の水は濁っていましたが、伊香立のあたりは水が澄んでいました。

見つけた生物は、・ヘビトンボ・トビケラ・ガガンボ・カワゲラ・カゲロウ・ドンコ・ヨシノボリ・サワガニ・カワニナなどでした。今回、下流地域ではサワガニを観察できませんでしたが、他は下流と中流の生物の差はとくにありませんでした。

秋の幼虫は小さく、成虫になる前の時期である春のほうが幼虫が大きくなっているのを見つけやすいとのことで、来年は観察の時期も変えての実施を検討します。これからも定期的な観察を続けていきますのでご協力をお願いいたします。